

# 『中期目標：90年比25%削減を見据えた 温室効果ガス排出削減に関する 戦略的マネジメント セミナー』 のご案内



2009年10月

総合研究部門

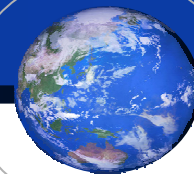
地球温暖化対応戦略クラスター



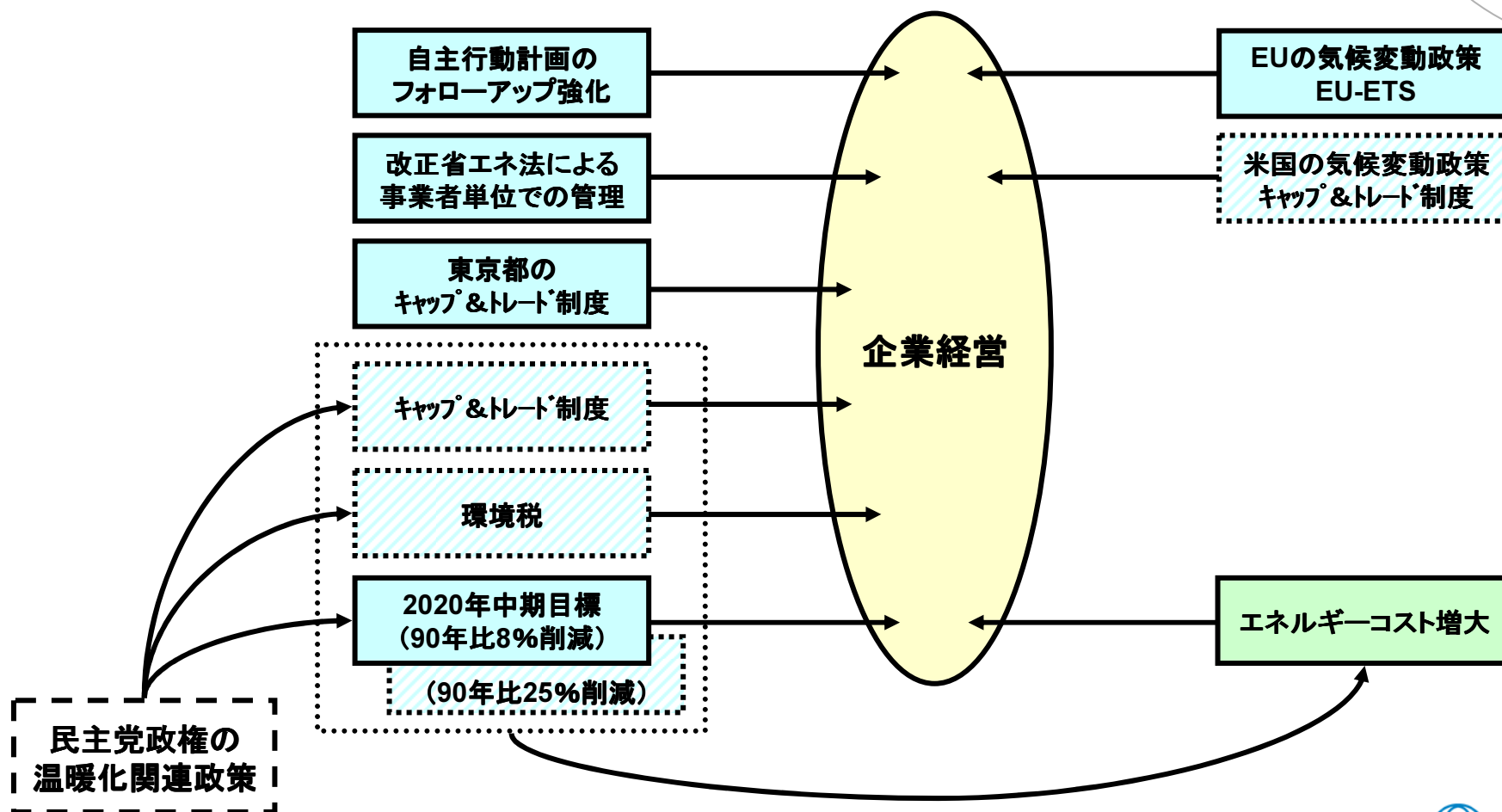
株式  
会社

日本総合研究所

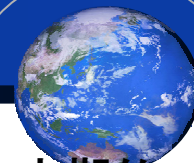
# 温室効果ガスの排出に関する規制リスクが高まっている



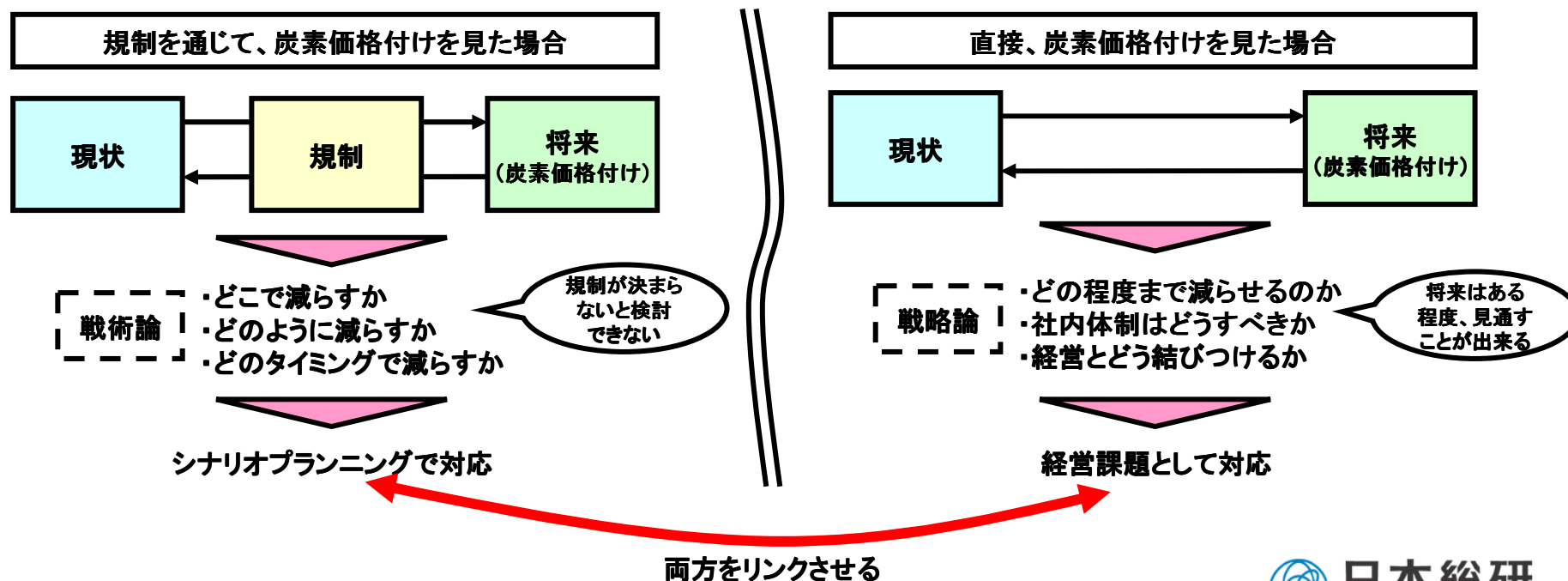
- 国内外で温室効果ガス排出削減に関連する規制が強化されつつある。
- 民主党政権が実現したことで、国内においてその流れが加速する可能性が高い。



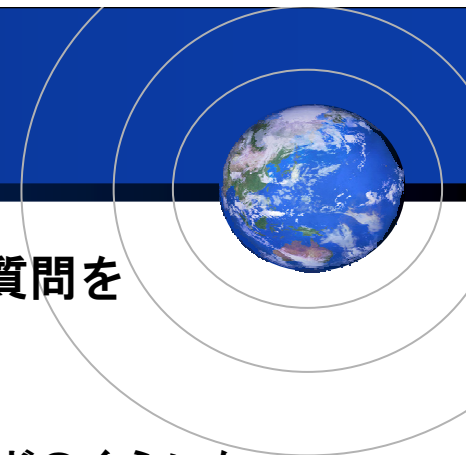
# 規制が見通せなくても、「今、行すべき準備」が存在する



- 強化されつつある規制の動向を「正確に」見通すことは難しい。その一方で、中期的には温室効果ガスの排出がコスト(炭素価格付け)になることは「確実」である。
- 規制を見据えたときの「To Do」と、炭素価格付けを見据えたときの「To Do」は共通する部分と異なる部分が存在する。
- このような中、企業が温室効果ガス削減に向けてとるべきアプローチは、規制対応と炭素価格付け対応の両面をリンクさせ、優先順位をつけて「To Do」の準備を行うことである。

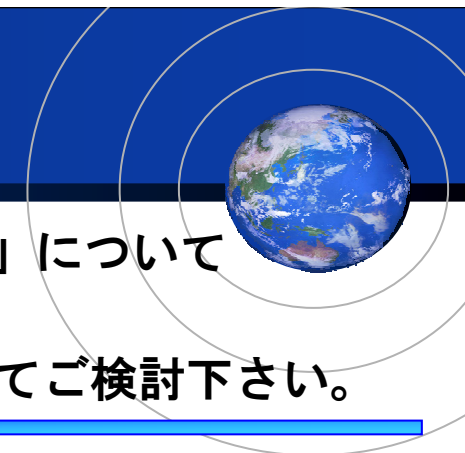


# 貴社は「今、行すべき準備」を終えていますか？



- 踏み込んだ温室効果ガスの排出削減を行う際、経営者は次のような質問を担当者に投げかけている。
  - 自社でどこまで削減できるのか。そのときの設備投資額・対応コストはどのくらいか。
  - どのような規制がかかる可能性があるのか。そのときの対応コストはどのくらいか。
  - 現状の設備投資では対応できないのか。
  - 自社削減以外の代替手段はないのか。
  - 他社はどのような対策を講じているのか。
  - 対策を講じない（諦める）ことは可能なのか。その場合の影響(定量・定性)は何か。
  - 費用、レピュテーション、短期的・中長期的視点など考慮して、結局何が得なのか。
  - 対策を実施するためには、社内の問題点は何か。何を定めて、何を变えればよいのか。
- 上記内容を、規制対応と炭素価格付け対応に整理し、来るべき時期に競合他社から遅れることなく、すぐに実施できるように準備を行うことが必要である。

# 「今、行すべき準備」を整理するためのセミナー



- 弊社では前述したような論点を詳しく解説し、「今、行すべき準備」について整理するミニセミナーを下記のように開催いたします。
- ミニセミナー終了後、個別相談会(事前申し込み制)を設けますので、併せてご検討下さい。

## テーマ

- 高まる規制リスクに関するレビュー
- 温暖化関連規制に対して企業がとるべき準備

## プログラム

- ミニセミナー 弊社研究員がプレゼンテーションを実施
- 個別相談会 (事前申し込み制) 弊社研究員と個別に面談を希望される企業様と個別相談会を実施いたします

## 日時

2009年10月6日(火)  
【ミニセミナー】 13:30～15:00 (受付開始 13:00)  
【個別相談会】 15:15～17:00 (事前申し込み制)

## 会場

(株)日本総合研究所 東京本社 1F 大会議室(102会議室)  
東京都千代田区一番町16番 半蔵門駅(地下鉄半蔵門線)より徒歩3分

## 受講料

お一人様 1,050円(資料代、消費税込み)

## 定員

20名 (定員に達し次第、終了と致します)

## お申し込み先

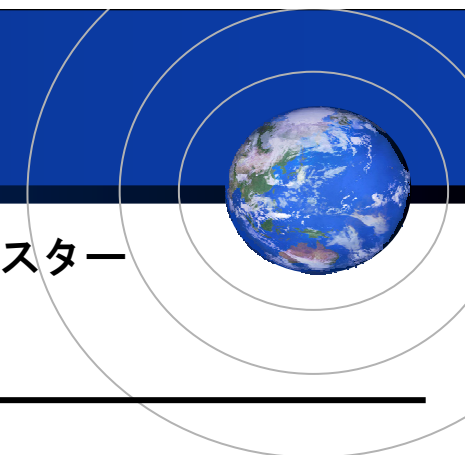
Web:<http://www.jri.co.jp/consul/event/index.html>  
FAX(FAX番号):03-3288-4691

# お問い合わせ

株式会社日本総合研究所 総合研究部門 地球温暖化対応戦略クラスター

【地球温暖化・排出権関連情報発信サイト】

[http://www.jri.co.jp/consul/theme/global\\_warming/index.html](http://www.jri.co.jp/consul/theme/global_warming/index.html)



## < 気候変動関連の主な実績 >

- ・「カーボンビジネス業務支援」(民間企業、2007・2008年)
- ・「気候変動リスクによる企業の財務的影響に関する調査」(環境省、2008年)
- ・「CDM事業化調査」((財)地球環境センター、2005・2006・2007・2008年)
- ・「気候変動リスクが業界に与える影響に関する研究」(業界団体、2008年)
- ・「地球温暖化に対応した設備投資スキームの検討」(民間企業、2007・2008年)
- ・「森林クレジット創出に関するビジネススキーム検討」(民間企業、2008年)
- ・「商品・サービスの地球温暖化防止貢献度について」(民間企業、2008年)
- ・「CDM事業化アドバイザー業務」(民間企業、2008年)
- ・「CDM事業リスク評価分析」(民間企業、2007年)
- ・「森林の評価とPRに関する調査」(民間企業、2006年)
- ・「新規方法論の作成支援調査」(民間企業、2006年)

## < 環境関連技術の主な実績 >

- ・「内燃機関に関する調査」(民間企業、2008年)
- ・「太陽光発電関連部品の製造設備に関する技術評価」(民間企業、2006年)
- ・「バイオマス発電に関する事業可能性調査」(民間企業、2006年)
- ・「水素製造技術に関する調査」(民間企業、2006年)
- ・「環境ビジネスの市場環境調査」(民間企業、2006年)

## < 環境と金融・SRIの主な実績 >

- ・「環境金融普及促進調査」(2007・2008年、環境省)

## < CSR関連の主な実績 >

- ・「環境憲章の見直しに関するコンサルティング」(2008年、民間企業)
- ・「環境・CSRに関する業務支援」(2005・2006・2007・2008・2009年、民間企業)

## < 主な講演 >

- ・「排出量取引を取り巻く周辺動向」(予定)(日本製薬工業協会、2009年)
- ・「企業経営における地球温暖化リスクを考える」(日本総合研究所、2009年)
- ・「排出権ビジネスの概要と実践事例の紹介」(空気調和衛生工学会、2009年)
- ・「二酸化炭素排出規制-中小企業のリスクとチャンス」(エコライフデザイン研究会、2008年)
- ・「省エネ取組事例-省エネと省CO2の関係」(福岡県・九州経済産業局、2008年)
- ・「地球温暖化対策の取組み- CDM 」(関西ライフライン研究会、2008年)
- ・「排出権から見る温暖化対策の世界」(尼崎市市民大学講座、2008年)
- ・「温暖化対策CDM/JI事業調査シンポジウム」(環境省・GEC、2006・2007年)
- ・「製薬企業は排出権取引をどう活用すべきか」(日本製薬工業協会、2006年)
- ・「地球温暖化対策に関するリレー講演」((財)日本環境財団、2006年)
- ・「自然エネルギーファイナンス」(三井住友フィナンシャルグループ、2005年)
- ・「エコエネルギー発電の事業評価手法入門、資金調達」(CASA、2003・2004年) など

## < 主な書籍・雑誌・他 >

- ・「グリーン・ニューディール これから起こる変化と伸びるビジネス」(共著、E&S社)
- ・「地球温暖化で伸びるビジネス」(共著、日本総合研究所編著、東洋経済新報社)
- ・「自然エネルギー市場」(共著、築地書館)
- ・「環境関連キーワード解説」(近代セールス、2008年)
- ・「リスクマネジメントABC-気候変動と温暖化-」(日刊工業新聞、2007年)
- ・「金融機関に求められるCSR-エネルギーファイナンスと地球温暖化」(近代セールス、2006年)
- ・「環境技術調査委員会 委員」((社)研究産業協会、2007・2008年)
- ・「排出権取引に関する研究会 委員」((社)関西経済連合会、2006年) など

以上